

DBS グループ・ホールディングス

2015/12 通期は増益の見通し、中計でインドへの参入に注目

シンガポール | 銀行 | 業績レビュー

BLOOMBERG DBS:SP | REUTERS DBSM.SI

- 2015/12 期 1Q (1-3 月) の総収益は前年同期比 11.6%増の 27.36 億 SGD、純利益は同 9.7%増の 11.33 億 SGD となった。
- 資金利益は同 13.6%増の 16.90 億 SGD、非資金利益は同 8.6%増の 10.46 億 SGD となった。
- 2015/12 通期の市場予想は純利益が同 7.5%増の 43.49 億 SGD。

What is the news?

2015/1Q は総収益が同 11.6%増の 27.36 億 SGD、純利益は同 9.7%増の 11.33 億 SGD となり、四半期ベースでいずれも過去最高を更新した。ローン事業の伸びが寄与し主力の資金利益は同 13.6%増の 16.90 億 SGD となった。資金利益マージン率は 1.71%と四半期ベースで 2012/3Q 以降 9 期連続で過去最高を更新した。また、ウェルス・マネジメント事業が堅調に推移し、手数料関連の収益は同 9.8%増の 5.6 億 SGD と好調で非資金利益は同 8.6%増の 10.46 億 SGD となった。

4 セグメントのうち主要 3 セグメントが増益。トレジャリー事業（総合的な金融サービス：為替取引、デリバティブ、固定収益、人民元決済、証券&信託など）は同 38.4%増の 3.86 億 SGD と増益率がトップ。ウェルス・マネジメント事業や個人銀行事業が堅調に伸び、両事業の合計収益は同 29.3%増の 8.61 億 SGD となった。また、収益のほぼ半分を占めている法人銀行業務は同手数料関連の収益が同 9.8%増の 5.6 億 SGD。

中国経済の減速や商品市況の下落はローン業務に響き、中国と商品市場（コモディティ・マーケット）に関連する貸出残高が減少した。ただ、主力の地域法人向けと個人向けのローン事業は依然として堅調に伸び、全体の貸出残高は同 11.1%増の 2,810 億 SGD となった。また、預金残高とファンドの預かり残高合計で同 9.8%増の 3,570 億 SGD となった。同社グループ全体の LDR 率（LDR=貸出残高/預金残高）は 87%と 2 期連続で 100%以下の健全な状態を維持している。また、不良資産（NPA）は 2014/4Q と比べ 7,700 万 SGD 増となったが、前年同期比 5.1%減の 25.90 億 SGD となった。また、不良債権比率は（NPL Ratio）0.9%と 2014/4Q の 1.0%から低下し、前年同期の低水準を維持している。

How do we view this?

フィリップシンガポールは 2015/12 通期の業績について資金利益の伸び率が前期比 9%、貸出残高の伸び率が同 8%を予想。また、同社は初の国際銀行としてインド市場に参入する計画。このため、2016/1Q までにインドから必要な承認を獲得する予定。2018-2020 年の中期計画で新規 50-75 支店の出店を目指しており、西アジアでの業務拡大が期待される。

業績推移

※参考レート1SGD=90.29円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
営業収益(百万SGD)	10,547	11,707	12,691	10,752	11,936
純利益(百万SGD)	3,809	3,672	4,046	4,349	4,820
EPS(SGD)	1.57	1.50	1.65	1.74	1.93
PER(倍)	13.37	13.99	12.72	12.06	10.88
BPS(SGD)	12.97	13.62	15.24	16.09	17.33
PBR(倍)	1.14	1.26	1.38	1.30	1.21
配当(SGD)	0.56	0.58	0.58	0.61	0.64
配当利回り(%)	2.67	2.76	2.76	2.91	3.05

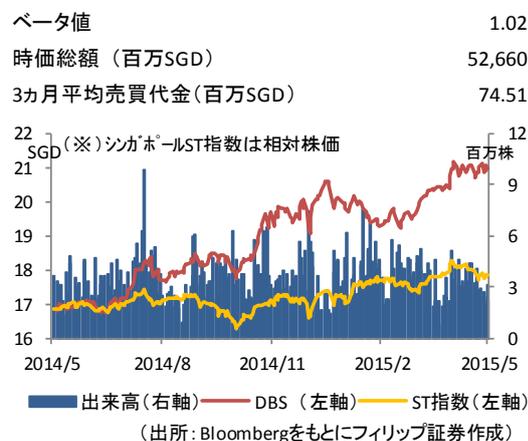
(出所: 会社公表資料やBloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (USD) 0.61 (予想はBloomberg)
終値 (SGD) 20.99 2015/5/15

会社概要

1968年設立され、アジア最大の金融機関の一つである。東南アジア、南アジアと中国市場を中心に世界17市場において250以上の支店を展開している。消費者に多岐にわたる金融サービスを提供し、アジアや中東などの中小企業および法人向けにもサービスを提供する。リテール銀行として、シンガポールと香港を中心に事業を展開し、一般銀行業務、資金調達、資産運用などにおいて優位を確保している。

企業データ (2015/5/15)



主要株主 (2015/5)

	(%)
1. Temasek Holdings (Private) Ltd	28.42
2. Norges Bank Investment Management	1.73
3. Black Rock	1.54

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.i.hara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

DBS グループ・ホールディングス

2015年5月18日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 北浦優子

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。

f